

1-2-2 鳥類

現地調査計画

調査の目的

対象事業実施区域及びその周辺に生息する鳥類の生息状況を把握するため調査を実施しました。

鳥類相調査は、対象事業実施区域及びその周辺並びに下流河川における鳥類相の把握を目的として行いました。また、過年度に生息が確認された重要な種の内、ヒシクイ、エゾライチョウ、ヨタカ、オオジシギに関して、これまで調査が実施されていない範囲において、確認に努めました。

重要な種調査は、これまでの調査で確認されたキツツキ科の重要な種クマゲラ（天然記念物：文化財保護法、絶滅危惧 類：環境省レッドデータブック、絶滅危急種：北海道レッドデータブック）について、対象事業実施区域及びその周辺における生息状況の把握を目的として実施しました。

ここでは、平成 16 年度に実施した調査のうち、6 月までの調査結果を報告します。

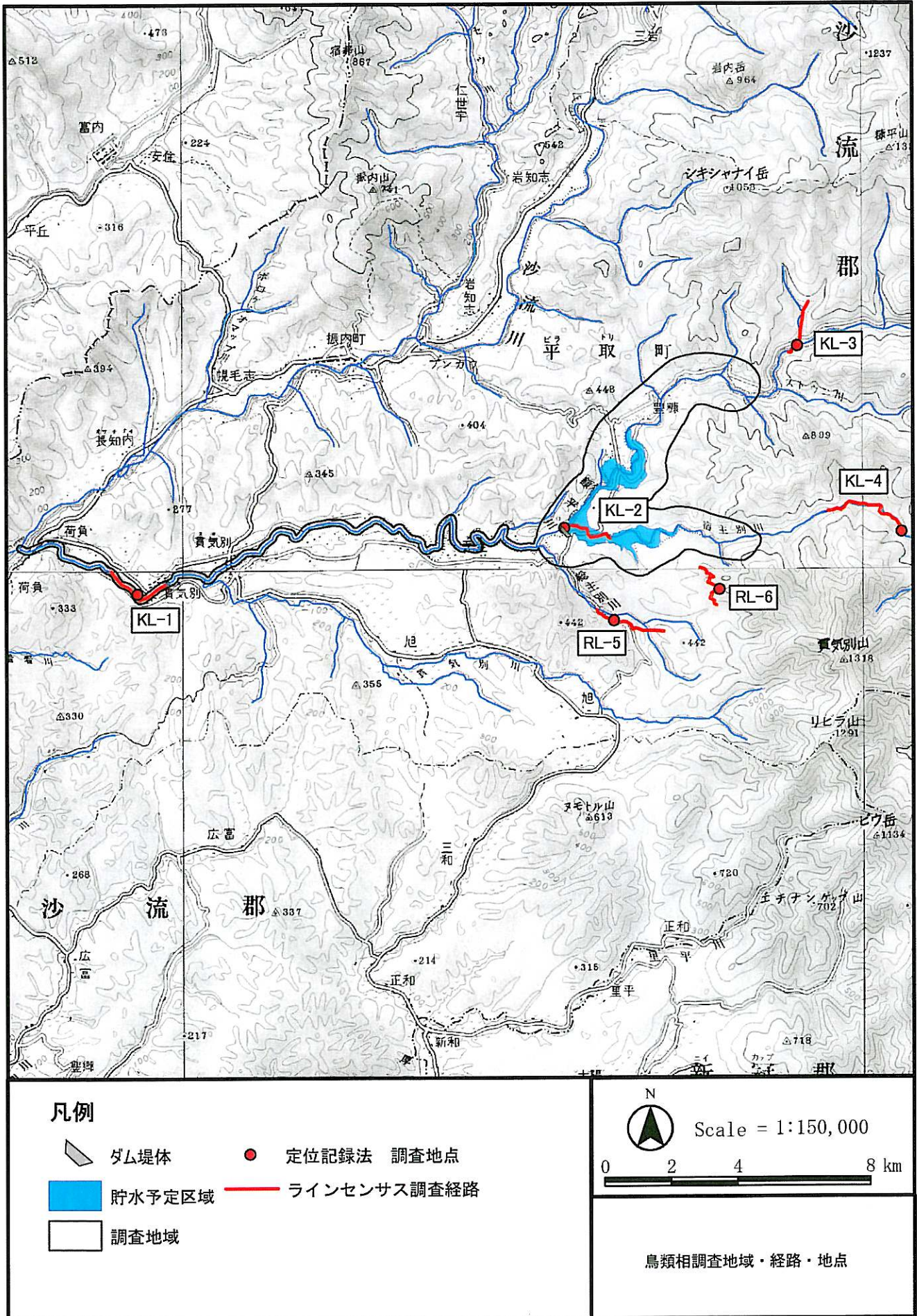
調査の方法

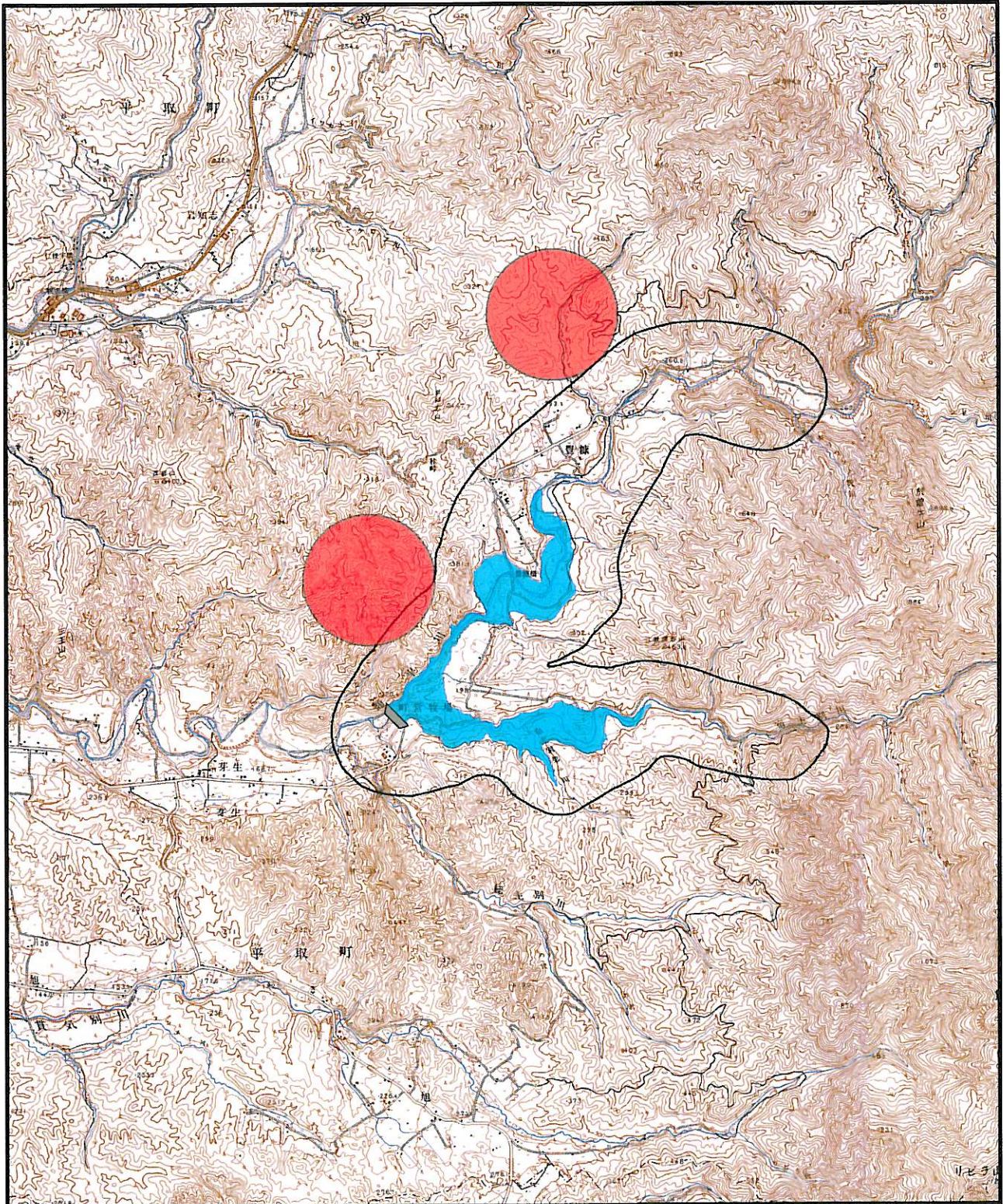
| 調査項目 | 調査方法 | |
|--|--------------|---|
| 鳥類相 (重要な種： ヒシクイ、エゾライ チョウ、ヨタ カ、オオジシギ、 オオアカゲラ調 査を含む) | ラインセン サス法 | 徒歩(時速 2km 程度)により調査地上を踏査し、出現する鳥類の目視及び鳴き声の聞き取りによって確認を行い、種名、雌雄、齢、個体数及び確認の種の記録を行った。 |
| | 定位記録法 | ラインセンサス調査地内に観察地点を設定し、定点に留まり、双眼鏡及び 60 倍のフィールドスコープを用い、出現する個体の目視及び鳴き声の聞き取りによって観察を行った。また、夜間(日没後 1 時間)にも調査を実施した。 |
| | 任意踏査 | 調査地域内を車両あるいは徒歩にて移動し、出現する鳥類の目視及び鳴き声の聞き取りによって確認を行い、種名等の記録を行った。 |
| 重要な種 (クマゲラ) | 営巣木調査 | 昨年度に確認されたクマゲラの営巣可能性木 2 本の今年度の繁殖利用の有無の確認を実施した。 また、冬季にこれらの営巣木の確認を目的として、毎木調査を実施する(調査実施予定項目)。 |

調査日程





| 調査項目 | 調査時期 |
|----------------|--|
| 鳥類相 | 平成 16 年 5 月 16 ~ 20 日 平成 16 年 6 月 18 ~ 20 日、22 ~ 24 日 |
| 重要な種 (クマゲラ) | 平成 16 年 5 月 19 日、20 日 平成 16 年 6 月 15 日、16 日 |

1. 平成16年度調査結果について





凡例

-  ダム堤体
-  営巣木調査 調査範囲
-  貯水予定区域
-  調査地域



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

重要な種（クマゲラ）調査地域・地点

平成 16 年度調査結果

鳥類相調査結果

調査の結果、下表に示す 32 科 76 種の鳥類が確認されました。

| 科名 | 種名 | 科名 | 種名 |
|-------|------------|--------------------|----------|
| サギ | アオサギ | ウグイス | ヤブサメ |
| カモ | オシドリ | ウグイス | ウグイス |
| | マガモ | エゾムシクイ | エゾムシクイ |
| | カルガモ | センダイムシクイ | センダイムシクイ |
| | カワアイサ | ヒタキ | キビタキ |
| タカ | ミサゴ | オオルリ | オオルリ |
| | ハチクマ | コサメビタキ | コサメビタキ |
| | トビ | エナガ | エナガ |
| | オオタカ | シジュウカラ | ハシブトガラ |
| | ツミ | ヒガラ | ヒガラ |
| | ハイタカ | ヤマガラ | ヤマガラ |
| | ノスリ | シジュウカラ | シジュウカラ |
| | クマタカ | ゴジュウカラ | ゴジュウカラ |
| ハヤブサ | ハヤブサ | メジロ | メジロ |
| | チゴハヤブサ | ホオジロ | ホオジロ |
| ライチョウ | エゾライチョウ | ホオアカ | ホオアカ |
| キジ | キジ | アオジ | アオジ |
| チドリ | コチドリ | クロジ | クロジ |
| シギ | ヤマシギ | アトリ | カワラヒワ |
| | イソシギ | ベニマシコ | ベニマシコ |
| | オオジシギ | イカル | イカル |
| ハト | カワラバト(ドバト) | シメ | シメ |
| | キジバト | ハタオリドリ | ニューナイスズメ |
| | アオバト | スズメ | スズメ |
| カッコウ | ジュウイチ | カラス | カケス |
| | ツツドリ | ハシボソガラス | ハシボソガラス |
| フクロウ | コノハズク | ハシブトガラス | ハシブトガラス |
| | フクロウ | 32 科 | 76 種 |
| ヨタカ | ヨタカ | 重要な種、生態系調査での確認種を含む | |
| カワセミ | カワセミ | | |
| キツツキ | ヤマゲラ | | |
| | クマゲラ | | |
| | アカゲラ | | |
| | コゲラ | | |
| ヒバリ | ヒバリ | | |
| ツバメ | イワツバメ | | |
| セキレイ | キセキレイ | | |
| | ハクセキレイ | | |
| | セグロセキレイ | | |
| | ピンズイ | | |
| ヒヨドリ | ヒヨドリ | | |
| モズ | モズ | | |
| カワガラス | カワガラス | | |
| ミソサザイ | ミソサザイ | | |
| ツグミ | コルリ | | |
| | ルリビタキ | | |
| | トラツグミ | | |
| | クロツグミ | | |
| | アカハラ | | |

陸域の調査経路及び調査地点では、20 科 42 種の鳥類が確認されました。RL-5 の総主別林道沿いのカラマツ植林内では、センダイムシクイ、アオジ、ウグイスが多く確認されました。RL-6 の総主別林道沿いの針広混交林内では、センダイムシクイ、アオジ、エゾムシクイ、ヤブサメが多く確認されました。

河川域の調査経路及び調査地点では、29 科 63 種の鳥類が確認されました。KL-1 の額平川最下流付近では、アオジ、イワツバメ、ハクセキレイ、アオサギ、ホオジロが多く確認されました。

KL-2 の額平川・宿主別川の合流部から宿主別川沿いの河畔林及び砂礫堆積地では、アオジ、センダイムシクイ、オオルリ、ヒヨドリが多く確認されました。KL-3 の額平川上流の源流部では、キセキレイ、ハクセキレイ、エゾムシクイ、センダイムシクイが多く確認されました。KL-4 の宿主別川の上流部の源流部では、センダイムシクイ、アオジ、ウグイス、コルリ、エゾムシクイ、アカハラ、ヤブサメが多く確認されました。

| 調査地点 | 調査月 | 確認種数 | ラインセンサスによる 確認個体数の上位 3 種 |
|----------------------|-----|-----------|---------------------------------------|
| RL-5 (陸域調査経路・地点) | 5 月 | 17 科 29 種 | センダイムシクイ アオジ ウグイス |
| | 6 月 | 15 科 25 種 | センダイムシクイ アオジ ウグイス |
| RL-6 (陸域調査経路・地点) | 5 月 | 14 科 29 種 | センダイムシクイ アオジ エゾムシクイ |
| | 6 月 | 15 科 24 種 | センダイムシクイ ヤブサメ エゾムシクイ |
| KL-1 (河川域調査経路・地点) | 5 月 | 18 科 32 種 | アオジ イワツバメ ハクセキレイ |
| | 6 月 | 18 科 30 種 | イワツバメ アオジ アオサギ ホオジロ |
| KL-2 (河川域調査経路・地点) | 5 月 | 16 科 25 種 | アオジ センダイムシクイ オオルリ |
| | 6 月 | 15 科 27 種 | アオジ センダイムシクイ ヒヨドリ |
| KL-3 (河川域調査経路・地点) | 5 月 | 8 科 12 種 | キセキレイ ハクセキレイ エゾムシクイ センダイムシクイ |
| | 6 月 | 10 科 19 種 | エゾムシクイ キセキレイ センダイムシクイ |
| KL-4 (河川域調査経路・地点) | 5 月 | 14 科 24 種 | センダイムシクイ アオジ ウグイス コルリ |
| | 6 月 | 14 科 24 種 | エゾムシクイ アカハラ ヤブサメ |

重要な種調査結果

重要な種としては、下表に示す 7 科 11 種の重要な種が確認されました。

クマガラの営巣木調査では、今年度の繁殖利用は確認されませんでした。

| 科名 | 種名 | 文化財 保護法 | 種の 保存法 | 環境省 RDB | 北海道 RDB | 確認状況 |
|-------|---------|------------|-----------|------------|------------|--|
| カモ | オシドリ | | | | 希少 | 5月の相調査時に、額平川の下流で、飛翔中の成鳥 4 個体、遊泳する成鳥 2 個体が確認された。6 月には、飛翔する 2 個体が確認された。 |
| タカ | ミサゴ | | | 準絶 | 危急 | 4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 2 回確認された。 |
| | ハチクマ | | | 準絶 | 希少 | 6月の相調査時に、宿主別川左岸の林の沢の上部方向へ飛翔する 1 個体が確認された。4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 27 回確認された。 |
| | オオタカ | | 国 | II 類 | 危急 | 4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 78 回確認された。 |
| | ハイタカ | | | 準絶 | 危急 | 6月の相調査時に、宿主別川の上流で、河畔林内へ飛翔する成鳥 1 個体が確認された。4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 71 回確認された。 |
| | クマタカ | | 国 | IB 類 | 危惧 | 5月の相調査時に宿主別川の上流で、飛翔したのちとまる成鳥 1 個体、宿主別川左岸の林内でカラマツ林上空を飛翔する 1 個体が確認された。4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 138 回確認された。 |
| ハヤブサ | ハヤブサ | | 国 | II 類 | 危急 | 5月の相調査時に、ダム堤体予定地付近で、飛翔する 1 個体が確認された。4月から9月までの猛禽類調査で、飛翔等がのべ 33 個体が確認された。 |
| ライチョウ | エゾライチョウ | | | 不足 | 希少 | 6月の相調査時に総主別川林道沿いで、広葉樹にとまる幼鳥 1 個体が確認された。7月の哺乳類の無人撮影調査において額平川左岸側の河畔林で幼鳥 1 個体が確認された。 |
| シギ | オオジシギ | | | 準絶 | 希少 | 5月の相調査時に額平川の下流で、ディスプレイフライトをする成鳥 6 個体が確認された。 |
| ヨタカ | ヨタカ | | | | 希少 | 6月の夜間調査中に、宿主別川左岸の林内で鳴声が確認された。 |
| キツツキ | クマガラ | 天然 | | II 類 | 危急 | 5月の相調査時に、宿主別川左岸の林内で鳴きながら飛翔しとまる成鳥 1 個体が確認された。 |
| 7 科 | 11 種 | 1 種 | 3 種 | 9 種 | 11 種 | 11 種 |

表中の重要な種の略号

文化財保護法

天然：文化財保護法に基づき指定された天然記念物

種の保存法

国：絶滅のおそれのある種の保存に関する法律に基づき定められた国内希少野生動植物

環境省 RDB

IB 類：絶滅危惧 IB（絶滅の危機に瀕している種。IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）

II 類：絶滅危惧 II 類（絶滅の危険が増大している種）

準絶：準絶滅危惧（存続の基盤が脆弱な種）

不足：情報不足（評価するだけの情報が不足している種）

北海道 RDB

危惧：絶滅危惧種（絶滅の危機に瀕している種または亜種）

危急：絶滅危急種（絶滅の危機が増大している種または亜種）

希少：希少種（存続基盤が脆弱な種または亜種）